

横浜子どもスポーツ基金「2015世界トライアスロンシリーズ横浜大会」報告

| | |
|---------------------|--|
| 1. 日 時 | 2月7日(土) 9:00~13:00 / 5月16日(土) 6:55~15:00 ~ 5月17日(日) 7:15~14:00 |
| 2. 場 所 | 横浜市立大学プール・体育館 / 山下公園特設会場 |
| 3. 参 加 者 (うち障害児) | キッズ教室 43名 / 大会開催: 1, 573名 |
| 4. 集 合 | 山下公園内 |
| 現 地 (球 場) | |
| 5. 交通手段 | 自力 |
| 6. 記者発表 | 教室記者発表: 1月16日(金) 大会記者発表: 5月11日(月) |
| 7. 場内アナウンス | 有り |
| 8. 大型ビジョン | 無し |
| 9. 記 念 品 | 大会Tシャツ、帽子 |
| 10. 全体所感 | <p>【1月16日】 教室事業では、直接オリンピックからトライアスロン競技を習い、競技にふれることで興味や関心を深めることができたと感じている。</p> <p>【5月16、17日】 子ども達が国際大会に触れる機会を提供できた。 ボランティア活動やスタッフとなり大会を支え、活動した子ども達からは、トライアスロンへの興味や関心を高めることができ「トライアスロンをやってみたい」との声を聞くことができた。 エリート女子で1位になった選手が、表彰式後にビクトリーブーケを渡した子供たちと一緒に撮った写真をFacebookに掲載してくれるなど、海外選手からも子どもたちとのふれあいを喜んでもらえる結果となった。</p> <p>大会会場では、障害がある方が観戦できるように介助ボランティアを配置し、健常者も障害者も大会を楽しめる環境を整えた。 また、パラトライアスロン競技をエリート・エイジ(一般)開催して、障害者スポーツの普及啓発を実施し、多くの感動を市民・観戦者へ与えることができたと感じている。 会場内MCで「横浜子どもスポーツ基金」のコメント及び世界への情報配信(150カ国)しました。</p> |

主催: 「2015世界トライアスロンシリーズ横浜大会組織委員会」 協力: